



健全な企業の枠組み

令和7年11月4日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

正しい意欲とルールは、企業の健全な基盤である。これらは経営という現実が企業の健全な育成と運営を要求されることを意味するものである。

これら企業の健全性は、その企業風土において健全な労働意欲を与え、未来という現実を可能とできるものである。

これらはルールの育成が、正しい企業経営の実現を与えるものであり、社員における健全な就業ルールと意欲における企業の実現は、企業の永続を与える正しい基盤なのである。

これらは開かれた環境は、風通しの良い優れたものであり、閉鎖環境などはいびつな異常な現実を生むものである。

これらは経営における正しい態度は、そのまま企業の現実を与えるものであり、企業の健全性は必ず経営に起因するものである。

これらは正しい企業内におけるコンセンサスの形成は、健全性の育成を与え、健全性は正しい結果を生むことができるのである。

これらが正しい企業サイクルの育成であり、経営における正しい自己は、それらを与える基盤なのである。

これらは高い倫理的な自己の要求であり、それら優れた企業倫理性の育成は、はるかに優れた企業現実を与えるものなのである。

優れた企業は必ず健全な社員の意欲を基盤として存在することは必ず理解できるものである。

しかし、これらを与えるもので経営の正しい姿勢であり、それらが企業の健全性という最も優れた企業環境の実現を与えるものである。